

様式第7号

事業報告書

団 体 名	551ホール活用チーム
事 業 名	不登校児童と保護者の支援プロジェクト
事業内容 (実施内容とスケジュールを具体的に記載)	<p>① 不登校児童生徒の居場所の提供</p> <p>② 不登校児童生徒へのプログラミング的思考講座、自己理解ワーク、季節のイベントの提供</p> <p>③ 不登校児童生徒の保護者へのパソコン、色彩講座の提供</p> <p>④ キャリアコンサルティング、座談会の提供</p> <p>⑤ 地域イベントによる実践的学び</p>
事業成果 (事業計画に記載した目的、成果目標及び波及効果に対する達成度等)	<p>本事業は、不登校児童生徒とその保護者が未来に希望を持ち、自らの目標を発見するきっかけを提供することを目的とした包括的な支援プログラムとして行いました。</p> <p>① 居場所の提供 参加者（合計） 児童生徒 8名 保護者 3名</p> <p>② 不登校児童生徒へのプログラミング的思考講座、自己理解ワーク、ワークショップの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング的思考講座 予定数 6回 実施数 6回 ・自己理解ワーク 予定数 3回 実施数 2回 ・季節のイベント 予定数 2回 実施数 2回 <p>③ 不登校児童生徒の保護者へのパソコン、色彩講座の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコン講座 予定数 6回 実施数 6回 ・色彩講座 予定数 1回 実施数 1回 <p>④ キャリアコンサルティング、座談会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアコンサルティング 希望数 1回 実施数 1回

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 座談会 予定数 2回 実施数 2回 ⑤ 地域イベントによる実践的学び 予定数 1回 実施数 2回
事業期間	令和 7年 7月 3日 ~ 令和 8年 3月 16日
<p style="text-align: center;">今後の事業展望 (反省点・改善点、短期及び中 長期のビジョン、継続性・財 源確保等)</p>	<p><反省点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 周知方法が悪かったため、必要な方へ届かず、参加者が増えなかった。どのように周知し参加者を増やしていくかが今後の課題。 ・ 児童生徒向け、保護者向けともに講座は好評で、参加者がいないことで休講となることもなかった。しかし参加者数が少ないので、毎回の講座の収支はマイナスだった。 ・ キャリアコンサルティングについては、発信することが少なかったため、希望者も実施数も少なかった。こちらからお声がけすることを失念してしまったため、1回のみの実施で実施者の中長期的なサポートをすることができなかった。 <p><問題点></p> <p>市の公式ラインやほかの媒体で情報を発信していただけてありがたかったが、掛川市の不登校支援の体制が十分に整っているとは言いがたい状況もあり、現状では発信を行っても必要な家庭に届きにくいのではと感じた。教育委員会、学校にも積極的に関わっていただき、連携を一層強め、協力しながら取り組んでいけたら不登校の支援がよりよくなると感じた。</p> <p><良かった点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大きなトラブル、ケガ等何事もなく、すべてのプログラムが完了できた。 ・ 毎日起きられない子が、ミライシードに来る日だけは起きられるとお声をいただいた。 ・ マルシェでは、当初、保護者に講座で学んだパソコンスキルを使って、看板やPOPを子供たちと協力して製作し、絆を深めていただくことを学びの一部と考えていたが、準備段階での保護者の参加者が0だったため、児童生徒が看板等は全部自分たちで手作りした。逆に企画、準備、運営まですべて児童だけの力でやりきることができ、他では出来ない様々な体験や経験をしてもらうことができたのではと思う。

	<p><短期及び中長期のビジョンと持続性></p> <p>今回この事業を行ったことで、551ホールのミライシードでは不登校の児童生徒が家にひきこもることを防ぎ、まず一歩、外に出て行ってみようと思える居場所にしたいという明確な目標ができた。外に出られるようになった子たちへの、次の支援として、連携先を増やし、自分らしく成長していけるような体制を作っていきたい。</p> <p><財源の確保></p> <p>当面の間、補助金、助成金の活用をしながら、参加者の月謝で運営できるように工夫していく。</p>
--	---

様式第3号

収支予算書（変更収支予算書、収支決算書）

団体名：551 ホール活用チーム

(収入)

区分	予算(決算)額(円)	説明
委託金	300,000	
参加費	20,750	
マルシェ売上金	10,450	ベビーカーテラ、ホイップデコ
合計	331,200	

(支出)

区分	予算(決算)額(円)	説明
報酬費	140,460	講師謝礼
印刷消耗品費	25,267	チラシ、ハロウィンイベント、マルシェPOP等
食糧費	32,322	ハロウィン、クリスマス、マルシェ試作、お楽しみ会
使用料及び賃借料	116,801	33日(3,539円×32日・3,553円×1日)
保険料	16,350	
合計	331,200	
(うち対象外経費)	0	

事業成果

8/6 オリエンテーション・そうくる先生座談会



ミライシードオープニングイベントとして子供とのかかわり方を専門にされているそうくる先生をお招きして座談会を実施しました。

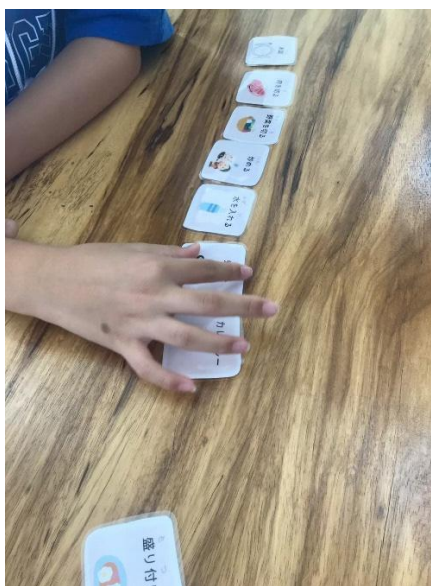
子供たちは、キッズスペースや園庭で遊んだり、建物内を探検したり、施設になれるためのオリエンテーションを行いました。

8/20 8/28 オリエンテーション キッズスペースや 551 ホールであそぼう



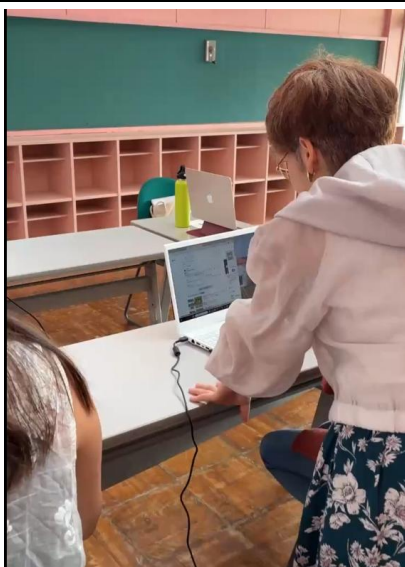
場所や人になれるために、施設全体を使い、時間いっぱい自由に遊んでもらいました。

9/3 プログラミング的思考講座 1回目



プログラミング的思考講座1回目は『じゅんばん名人』として、プログラミング的思考の重要ポイントである順番にフォーカスし、普段何気なくやっていること、できてしまうことにも順番があることに気づくことができました。朝の支度の順番並べではみんな違う順番で支度をしていて、誰一人間違っていない、全く同じ考え方や生き方をしている人はいないんだねと再確認しました。

9/10 コミュニケーションワーク・パソコン講座 1 回目



1 回目のコミュニケーションワークでは、自分の大切にしている価値観探しワークをしました。価値観って難しいかな？と思いましたがしっかり 45 個の価値観ワードから 3 つまで絞ることができ、みんなの価値観を話し合えました。

パソコン講座 1 回目はパソコンに慣れるために『寿司打』をやり、みんなで得点を競いました。

9/17 プログラミング的思考講座 2 回目



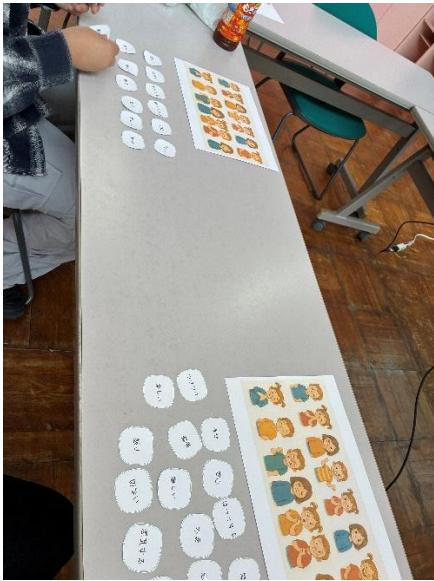
プログラミング的思考講座 2 回目は『もようハンターになろう』でした。もようハンターになって、施設内の模様を探したり、自分で模様を作りました。規則性をテーマに普段気が付かなかったこと、気が付いていなかったけど、頭の中にあるものに気が付くことができました。

9/24 コミュニケーションワーク



2 回目のコミュニケーションワークは『自分も相手も知ろうビンゴ』を行いました。24 個のテーマから 9 個を選び、自分のビンゴシートに 9 個を書き込みます。ビンゴを目指しつつ、順番に自分の書いたテーマの話をしました。考えたことのないテーマの話をすることで、自分のことも再確認でき、周りの人のこともたくさん知ることのできる時間でした。

10/1 プログラミング的思考講座3回目



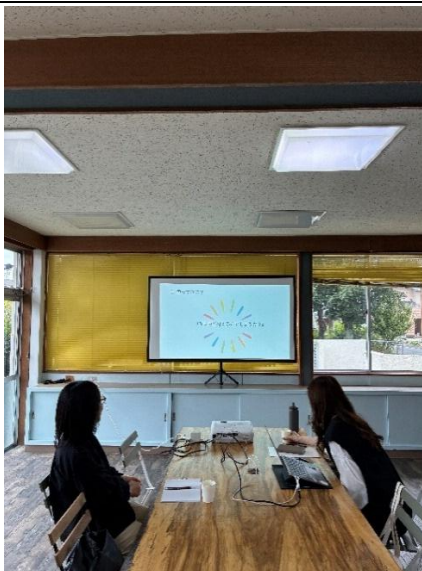
プログラミング的思考3回目は『表現の王様になろう』。ワークシートの子供の表情から感情を考えたり、感情を色や形で表現しました。感じ方もひとそれぞれ、自分も間違っていない。自分も周りの人のことも知れるワークでした。

10/8 ハロウィン製作1



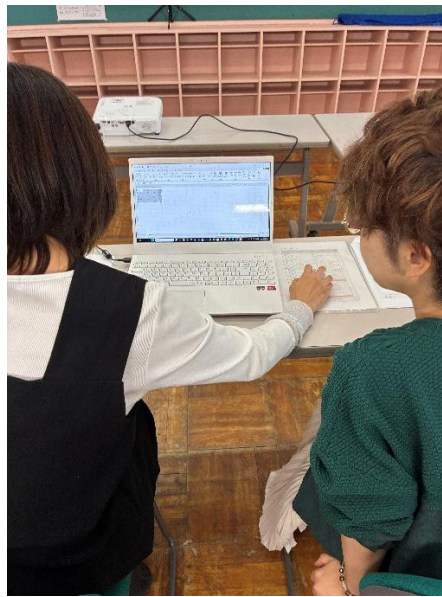
ハロウィンパーティ用にピニャータ作りを全3回に分けて製作しました。風船に新聞紙を貼りつけて土台を作りました。手がべとべとになりましたが、みんな楽しんで夢中で作業をしました。

10/15 ハロウィン製作2・色彩講座



ピニャータ作り2日目。土台をもう少し強くするために、1日目に作った土台に画用紙を張り付けていきました。中には土台を一から作り直す子も。前回で要領がわかっているのであつという間に追いつきました。保護者は色彩講座を受講しました。色って奥が深い！面白い！もっと知りたい！をお持ち帰りいただきました。

10/22 ハロウィン製作3・パソコン講座



ピニャータ作り3回目。土台に飾りつけや顔を書いて納得のいくピニャータが完成しました。時間が余った子は、画用紙の切れ端でハロウィンパーティで遊ぶ、ハロウィン福笑いを作りました。

保護者はパソコン講座を受講しました。参加者が少なかったのでマンツーマンで先生に教えていただき、有意義な時間を過ごしていただけたと思います。

10/29 ハロウィンパーティ



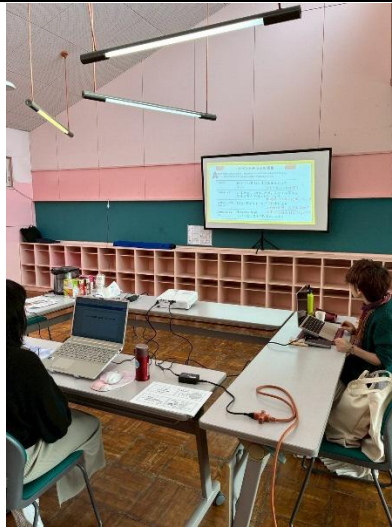
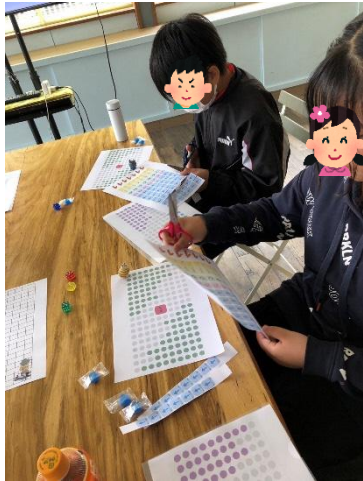
ハロウィンパーティーの参加者は2名でしたが、自分の作ったピニャータを上手にたたいてお菓子を取り出すことができました。ピニャータ作成時に作ったジャックオーランタンや黒猫のハロウィン福笑いも大盛り上がりしました。

11/5 プログラミング思講座4回目



プログラミング的思考4回目は『選ぶチャンピオンになろう』。判断力や選択力にフォーカスして、天気にあった服装を選んだり、お友達に質問をしながら、お友達の希望に合ったコーディネートを考えました。判断力や選択力は、服を選ぶなどの小さなことから培えることを学びました。

11/12 プログラミング思考 5 回目・デザイン講座



プログラミング的思考 5 回目は『指示出し名人になろう』でした。自分の意図を正確に伝えるむずかしさ、大切さを 3 つのゲームをしながら学びました。

保護者の講座は Canva 講座で、デザインだけでなく、伝える内容の整理、AI との付き合い方まで学びました。

11/19 社会科見学



教室を飛び出して、SAIGO FARM へ秋のフィールドワークへ行きました。地図を持って、施設内をぐるっと楽しみました。帰りに駄

菓子屋さんによって、200 円分のお菓子を計算して買いました。

11/22 朝市参加



551 朝市のスタッフとして、おにぎり味噌汁販売のお店番をしてくれました。お客様への対応が慣れている子もいれば、初めての接客で戸惑う子もいましたが、何事も経験することが大切ということを学び、お客様も温かく見守っていただきました。

11/26 朝市反省、室内遊び・デザイン講座



コミュニケーションワークとして ito というカードゲームを楽しみました。みんなの価値をすり合わせる協力ゲームなので、コミュニケーションが必須です。予想外の意図に大笑いしました。

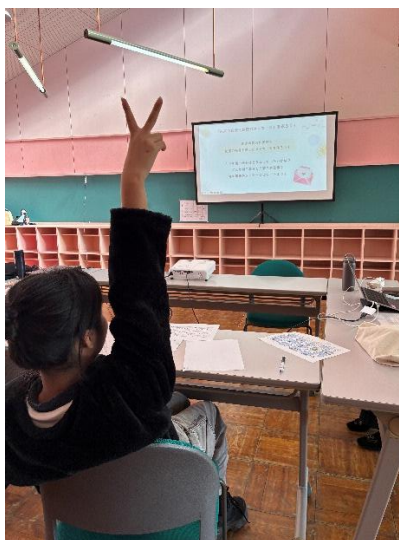
保護者の講座は動画編集でした。初めてとは思えない速さでサクサク作業を進めていました。

12/3 クリスマスツリーづくり



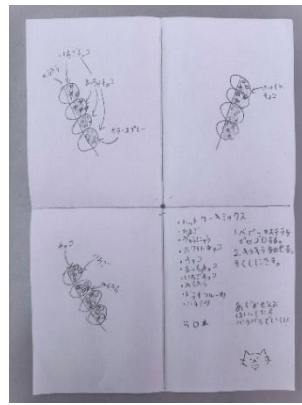
耕作放棄地のお茶の木を使ったクリスマスツリー作りでは、個々の性格が出る世界に一つだけの素敵なツリーが出来上がりました。環境問題や地域の課題に目を向けてもらうきっかけになりました。

12/10 プログラミング的思考講座 6回目



プログラミング的思考講座最終回。『未来の自分へメッセージを送ろう』では、脳の体操の一筆書きや限られた時間内により多くのパビリオンを回る職業体験テーマパークシート、秘密の暗号で未来の自分への手紙を書くなど、盛りだくさんでした。

12/17 マルシェ企画



いよいよ 1/24 のマルシェに向けての準備が始まりました。まずは先生がわかりやすくまとめてくれた資料で講義を受けました。販売したいものも決まりました。

12/24 マルシェ試作・クリスマス会



マルシェで販売するベビーカステラの試作をしながらクリスマス会を行いました。試作第一弾は味はおいしかったのですが、見栄え、提供方法など課題が見つかりました。ワイワイ楽しめました。

1/7 マルシェ準備



出店するお店の看板作成と、販売するものの材料集めに出かけました。講義で予算をたてたり、原価計算をしているのでそれをもとに個数を決め、お買い物リストを作って買い物に行きました。

1/14 マルシェ準備



どうしたらお客さんが興味を持ってくれるか、よりよいものを作るにはどうしたらいいかなど、その都度考えながら準備を進めました。2回目の買い物も、お店では〇〇はどの辺だろう？ 似ているけどなんで値段が違うんだろう？ などいろいろ会話をしながら買い物をしました。

1/21 マルシェ準備



いよいよマルシェが近づいてきたので、準備も大詰めを迎えました。みんな黙々とそれぞれの作業を進め、あとは当日を楽しむだけとなりました。

1/24 マルシェ出店



マルシェ当日、一から企画準備、運営まで自分たちで行いました。お客様へ笑顔で接客したり、ドキドキしながら対応したり、寒い日でお客さんの入りが少なかったけれど、経験の一つになったのではないかなと思います。

2/4 室内遊び・そくする先生相談会



新たに2名のお友達も加わり、はじめは少し緊張していたけれど、すぐに打ち解け、推しの話などを話し始めました。

保護者は第二回目となるそくする先生の相談会でした。ほかの人の相談からも気づきがあったり、すぐに実践できるかわり方を教えていただきました。

2/11 お楽しみ会



ミライシードもマルシェも頑張ったねと最後の日にお楽しみ会を行いました。定番になった ito ゲームは、8カ月間一緒に過ごただけあり、協力してゲームを成功させることができました。お友達が持ってきてくれたVRも大盛り上がりでした。

